

八 街 市 外 部 評 価 結 果

事 務 事 業 評 価	事務事業名	敬老事業費・長寿祝金支給事業費		
	担当部課名	市民部高齢者福祉課		
	事業の概要	<p>○ 社会福祉協議会に事業を委託し、75歳以上の方を対象に、各地域の協力により敬老会を実施しています。また、結婚50周年の夫婦を対象に中央公民館において、金婚式を実施している。</p> <p>長寿祝金支給事業は、80歳・88歳・99歳・100歳の方を対象に、祝金を支給している。</p>		
	H 2 4 決算	25,573千円	内部評価 決定内容	現状維持
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も人口に占める高齢者の割合が高まり「高齢社会」が当たり前になる中で実施していくことの是非。 ・厳しい財政事情の中、年齢だけを要件に一律に現金を支給することがこれからの高齢者福祉に効果的か。 		
担当部課長の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平均寿命の延び、高齢者数の増加により長寿祝金等の支給対象者数及び支給は今後も増加の一途である。 ・他のニーズの高い福祉サービスの充実を図るため、また、他市との均衡を考慮して事業を実施すべきと考える。 ・今後も継続していきたいと考える。 			

行 財 政 調 査 会 の 評 価	
事務事業名	敬老会事業
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 手法等を見直し継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 他事業と統合又は廃止	
事務事業名	金婚式
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 手法等を見直し継続 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	
事務事業名	長寿祝金支給事業
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 手法等を見直し継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 他事業と統合又は廃止	
評価に関する コメント	<p>○敬老会事業 地区別に開催されることについては、一定の妥当性はあると思われるが地区社協合同での開催も検討する必要があると思われる。また、人件費の積算根拠等不透明な部分があることから、市と社会福祉協議会の全体の関わりの中で根本的な見直しをする必要がある。</p> <p>○金婚式 個人的な御祝いの要素が強く、積極的に市が行う理由が見いだせない。</p> <p>○長寿祝金支給事業 支給回数及び支給金額の減を行い、事業の縮小が適当と思われる。</p>
委員の主な意見	<p>○敬老会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別で開催していることはよいと思うが、対象者が参加できない理由等おかれている状況等を把握し、地区社協合同開催を含めて、実施方法を検討する必要がある。 ・社会福祉協議会の人件費算出が不透明であることから、積算根拠を明確にし、委託料の縮減を図る必要がある。 <p>○金婚式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭で行うものであり、市が行う事業ではない。 ・死別や離別により、2人が健全でない家庭は対象とならないことから、平等ではない。 <p>○長寿祝金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、4回の節目に祝金を支給しているが、支給金額の減額及び支給回数を2段階に減らすなど併せて検討し、その財源を高齢者の別施策に有効活用してほしい。 ・他事業との統合では、統合事業を明確にできないため、支給回数の減支給金額の減を検討し、事業の縮小が必要である。 ・現金支給ではなく、商品券等にすれば、地域活性化にもつながり、また、支給金額を下げることも可能と思われるので検討が必要。
評価会議名	第2回八街市行財政調査会